

公開情報資料

整理番号	2024. 12-1	
研究課題名	動脈瘤性くも膜下出血の重症度が頭部 CT-angiography の造影剤到達時間に与える影響	
研究期間	2016 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日	
研究目的	くも膜下出血の原因である脳動脈瘤の検出には頭部 CT-angiography が有用とされている。正確なスキヤンのタイミングは、良好な頭部 CT-angiography を得るために重要である。本研究の目的は、くも膜下出血の重症度が造影剤到達時間に与える影響を明らかにすること。	
研究方法	研究対象範囲	2016 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日に動脈瘤疑いで頭部 CT-angiography を撮影した症例
	利用する情報等	性別、年齢、身長、体重、疾患名、CT 画像および CT 画像に付随する情報
	利用方法	電子カルテ記載から収集、Work station による画像解析を行う
	他機関への提供	なし
研究責任者	岡山赤十字病院 中央放射線部 都能 和俊	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	